

宣伝会議AdverTimesに「EVIで始まる身近な環境貢献」記事掲載中

環境会議2015年春号



AdverTimes (アドタイ)は宣伝会議の運営する広告界のニュース&情報ポータルサイト。広告・宣伝に携わる全てのマーケッターのために、最新のニュースや業界著名人によるコラムを掲載。掲載現在『環境会議2015年春号』のEVIの記事が取り上げられています。

<http://www.advertimes.com/20150316/article186293/>

カルビー、森と企業と消費者をつなぐ——EVIで始まる身近な環境貢献。主なタイトルは■「環境」をキーワードにビジネスを■地域住民のコミュニケーションツールに■環境貢献思考を全国へ■国の施策が商品開発を後押し

※3月開催「環境貢献型商品の開発・販売促進への支援事業に関する商品開発説明会」<https://www.evic.jp/evi/cof/index.html>



AdverTimes (アドタイ) > 新着ニュース > 宣伝・広告 > カルビー、森と企業と消費者をつなぐ——EVIで始まる身近な環境貢献
 ■ 最新マーケティング情報を毎日お届け！AdverTimesのメルマガ登録はこちら
 ■ 【名古屋・大阪開催】企業のための定期勉強会（エリア版）5月スタート！

カルビー、森と企業と消費者をつなぐ——EVIで始まる身近な環境貢献

2015年03月16日 掲載
 『環境会議』『人間会議』編集部
 0 13 9
 チェック 0 0 0
 いいね! ツイート

2011年、カルビーのカルネコ事業部は、三菱UFJリースと共同で、「日本の森と水と空気を守る」をテーマに、EVI (Eco Value Interchange) 推進協議会を立ち上げた。

EVIは、オフセット・クレジットを販売したい「森林事業者」と、クレジットを購入してCSRやカーボン・オフセットなどの環境貢献活動につなげたい「企業」、エコ活動に興味はあるがどう関わっていいのかわからない「消費者」の3者を結ぶ、クレジット流通のプラットフォームだ。

その仕組みは、環境貢献に関心のある企業が、EVIが預託を受けている森林事業者から支援先を選び、EVIシールを購入することで、クレジットを購入する。企業はシールを貼った商品をカーボン・オフセット付商品として販売し、消費者はその商品を買うことで、環境への貢献が簡単にできる。また、EVIのお買いものサイト「森のめぐみのおとりよせ」で商品を購入すれば、消費者が自身で支援したい森を選ぶこともできる。



「EVIシール」を貼ると、環境貢献するカーボン・オフセット付商品になる。

活動開始から4年目。EVIへのクレジット預託森数は68、参加企業は39社となっている。カルビーのカルネコ事業部・加藤孝一事業部長は、「現在、預託クレジットにおける都道府県カバー率は77.3%に達しています。企業や消費者がどのエリアにいても、自分の生まれ故郷や親近感のある地域の森を支援できるよう、都道府県カバー率100%を目指しています」と話す。

3月開催「環境貢献型商品の開発・販売促進への支援事業に関する商品開発説明会」

日本の森と水と空気を守るEVI推進協議会は、2015年度 環境省のクレジットを活用した環境貢献型商品の開発・販売促進への支援事業に関する商品開発説明会を3月下旬から、全国のエリアで開催する。

全国の企業や特定地域協議会、自治体等とも連携しながら、本当に役に立つ環境貢献を実現する商品や地域の特産品等をカーボン・オフセット商品として開発し、首都圏から地方へ、地方から都市部へと拡大し、環境貢献型商品の創出が提案される。

説明会申込みサイトは[こちら](#)

『環境会議2015年春号』
 『環境会議』『人間会議』は2000年の創刊以来、「社会貢献クラス」を目指すすべての人に役立つ情報発信を行っています。企業が信頼を得るために欠かせないCSRの本質を環境と哲学の二つの視点からわかりやすくお届けします。企業の経営層、環境・CSR部門、経営企画室をはじめ、環境や哲学・倫理に関わる学識者やNGO・NPOといったさまざまな分野で社会貢献を考える方々のコミュニケーション・プラットフォームとなっています。(発売日：3月5日)
 宣伝会議ONLINEで買う

ビジネスを

トチップスを思い浮かべると、カルネコ事業部が担当するのOPなどの販促・プロモーション事業だ。

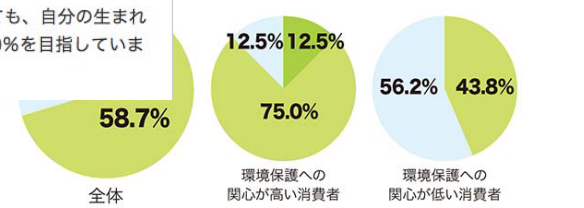
ユーザーに喜んでもらいながら、小売、卸、メーカー、消。価格訴求型ではなく、価値創造型プロモーションが、カ

構築するきっかけとなったのは、2010年、菓子業界が取り組む「プリント」算定試行事業での、環境貢献型プロモーション

商品でキャンペーンを実施。企画は、商品のCFPマークを応保護活動を選択し応募すると、マーク1枚=2円で応援する森というもの。森林保護を支援すると同時に、アンケートで消費一チした。結果、前年の同時期に比べ2.7倍という高い販売率環境貢献ができるなら1割程度なら高くても買いたい」という消

て、販売率も高いのであれば、「環境」をキーワードにビジ

貢献に対する調査 ●1割以上高くても良い ●1割までなら高くても良い ●普通の商品のみ
 の価格受容性)



「あなたが選ぶ!森が活きる!消費者アンケート」より